

令和3年度 全国大学附属農場協議会 教育シンポジウム

ポストコロナ時代における 新しい農場教育の在り方とは

—オンラインと対面実習の活用方法を考える—



日時

令和3年5月14日(金) 9:00～12:40

開催方法

オンライン【参加費無料】※ただし事前申し込みが必要

参加申し込み URL

<https://forms.gle/Jx5aB8Wzs7BLcCPG8>

主催

全国大学附属農場協議会

後援

文部科学省・農林水産省



開催趣旨

近年、ICT 技術の著しい発展に伴い、農業分野では自動化、省力化、高精度化が進み、農場教育への導入も進められている。教育現場においてもデジタル化、リモート化が進み、オンライン授業の有用性が注目され、デジタルトランスフォーメーション (DX) 化が進められている。この動きは新型コロナウイルスの影響により急速に拡大し、各大学ではオンラインツールの利用が当たりまえとなった。一方、こうした動きの中で、直接対面・対話することの重要性も再認識されるようになった。大学附属農場では新型コロナウイルス感染防止対策のため実習の実施を自粛せざるを得ない状況が続き、各大学ではオンライン授業を導入しながら農場実習効果を高められるよう、授業実施方法を模索する日々が続いている。

そこで今回のシンポジウムでは、大学附属農場で農場教育を実施するにあたり、ポストコロナ時代における新しい農場教育の在り方について考える。

【本件に関するお問い合わせ・取材のお申込み】

全国大学附属農場協議会・シンポジウム担当：
小倉振一郎（東北大学）／河端実之（東京大学）

TEL・FAX：022-757-4263, 0229-84-7378
メール：shomu.jufc@gmail.com

プログラム

I. 開会の辞 (9:00～9:05)

三石 誠司（全国大学附属農場協議会副会長／宮城大学教授）

■ 総合司会：三石 誠司

II. 基調講演 (9:05～9:35)

『コロナ禍における農場教育の意義』

長尾 慶和（全国大学附属農場協議会会長／宇都宮大学教授）

III. 特別講演 (9:35～10:35)

1) 『高等教育を取り巻く状況等について』

廣末 賢太（文部科学省 高等教育局 専門教育課 教育振興係長）

2) 『持続可能な農と食の実施に向けた農業人材育成について』

伊藤 直樹（農林水産省 経営局 就農・女性課 課長補佐）

休憩 (10分)

IV. パネルディスカッション (10:45～12:35)

パネラー：小笠原英毅（北里大学講師）／浅田 真一（玉川大学教授）

山崎 将紀（神戸大学准教授）／黒川 勇三（広島大学教授）

阿部 淳（東海大学教授）

《座長：小倉振一郎（東北大学教授）》

V. 総括・閉会の辞 (12:35～12:40)

井澤 毅（全国大学附属農場協議会副会長／東京大学教授）